

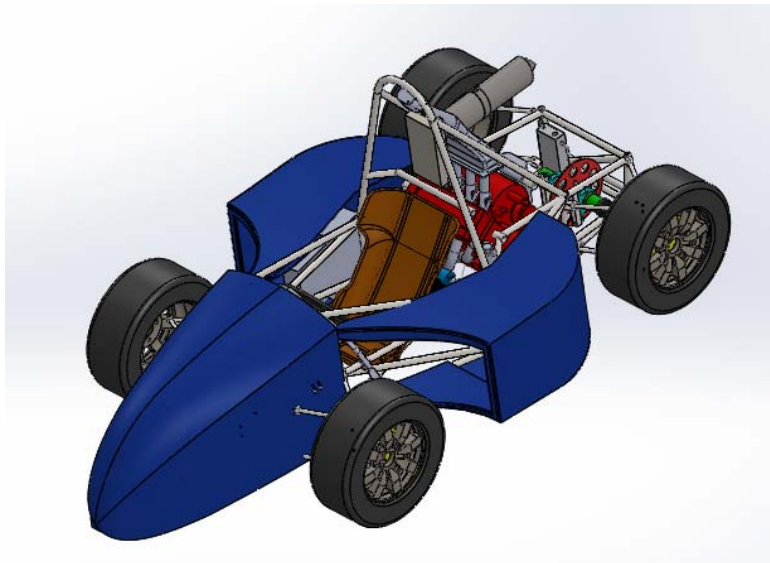


雪辱を果たすための挑戦

円陣会

Engine Association

<http://enginekai000.web.fc2.com>



Presentation プレゼンテーション

マシン名: **NU-CST/012**

今期は第11回大会の反省点を踏まえた上で新たな試みを導入し、上位入賞をめざしました。サスペンション班は操作性の向上として逆アッカーマンを新規に導入し、パーツではペダルのユニット化を行いました。エンジン班は動の実験を行うことでデータ取得を行い、パーツはインテイクマニホールドを樹脂で製作しました。フレーム班はドライブシャフトの確保と剛性バランスを意識して製作しました。

昨年はブレーキテストを通過するのに時間がかかってしまい、動的審査2種目に出場することができず、大きく順位を落とす結果になりました。これは日程どおりに製作が進まず、確認ができなかったことが原因だと考えました。今期は日程管理に重きを置き、製作での遅れが発生しないように活動しました。その成果もあり、今期は予定どおり5月にシェイクダウンをすることができ、確認と走行時間を多く取ることができました。

静的審査は役割分担をしっかりと決め、時間をかけて活動しました。デザインは第11回大会でフィードバックを受けたことでレポートとパネルの完成度を上げました。プレゼンテーションは前回のをベースに改良を加え多くの人に見せることで意見を取り入れました。コストは方針を決め、静的交流会での意見を生かし製作をし、リアルケースは資料作りから徹底しました。

Participation report 参戦レポート

1日目は第11回大会で上位を取ることができず優先車検を受ける事ができなかったため、車検のために確認を入念に行いました。2日目からは日程的に厳しく、デザイン審査の後に車検、コスト審査と続き、休む間もなく過ぎて行きました。車検は指摘項目が3つ程度に収まり、1回目の再車検で通過することができました。去年順位を落とす要因となったブレーキテストは日程管理がうまくいったことにより確認ができていたため、1回目で通過することができました。

3日目からはプラクティスを行いつつ動的審査のために調整を行っていきました。しかしエンジンの調子が悪くなり再始動ができない状態になってしまいました。それによりタイムは残ったものの、アクセルレーションとスキッドパッドのどちらも2周目を走る事ができませんでした。午後のオートクロスではコースの奥でスピンをしてしまい、走行復帰ができなくエンデュランスの走行ができなかったところでしたが、審査員方の計らいで回収をさせてもらいタイムを残すことができました。

4日目は悪天候で走行順の変更がありましたが無事エンデュランスに望めました。しかしドライブチェンジ時にエンジンオイルの漏れがあり、リタイヤという形になってしまいました。静的審査は3種目とも点数が上がり、順位も大きく上げることができました。その結果があった分、エンデュランスでの未完走が悔やまれる結果となりました。総合順位は41位となり、去年の雪辱を果たすことはできずに終わってしまいました。



今回の総合結果・部門賞

●総合41位

Profile チーム紹介・今までの活動

日本大学理工学部円陣会は、1952年（昭和27年）に発足した歴史のあるチームになりました。学生が主体となり物づくりをするという方針のもと、さまざまな競技に出場したサークルです。現在は自動車技術会主催である全日本学生フォーミュラ大会に12年連続出場しています。

Team-member チームメンバー

宇都宮 真幸 (CP)

星野 倫彦 (FA)、伊藤 直人、宇田 拓樹、大原 洋貴、小野 真嗣、大久保 貴章、北林 和也、小牧 安樹、須賀 竜一、菅谷 貴大、羽生 圭佑、林 優太、高畑 周平、瀧澤 勇輔、池田 龍哉、菅田 颯、今泉 雄斗、清代 大気、織田 真裕、近藤 拓輝、大竹 出、高野 峻太郎、落合 亮、大塚 耀太

Sponsors スポンサーリスト

ヤマハ発動機、ソフトウェアクレイドル、三協マテリアル、大洋、アール産業牧、和光ケミカル、デビルテクニカ、日本発条、スズキ、小原歯車工業、光研電化、城南キー、プロト、SPSアンブラコ、ソリッドワークス・ジャパン、NOK、大同工業、NTN、日産自動車、本田技研、F.C.C.、VSN、ミスミ、DECK MECHANICAL POWER、SEVENTH NIGHT、プラスムー、三和メッキ、RS-Watanabe、ミネベア、ヒューチャーテクノロジー、協和石油ルブリカンツ、重松製作所、ジョブテシオ